

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成27年2月25日 NO.90 (190)



花ちゃん 「ねえねえ、オー君。わたし不思議に思うんだけど、どうしてカモって、水の中
にいるんだろうね。」

オー君 「ふーむ。そりゃ、むずかしい問題だ。水の中にいるから水鳥なんだけど。」

モンタ博士 「二人ともいいところに気がついたね。何事もどうしてか?と考える事は大切
だね。よくカモたちの動きを見ていてごらん。そのうちわかるから…。」

花ちゃん 「えっ! どうして、どうして?」

オー君 「えっ! どうして、どうして?モンタ博士がよくカモの動きを見てごらんと
言ったよね。それじゃ!花ちゃん。不思議大発見にチャレンジしよう。」

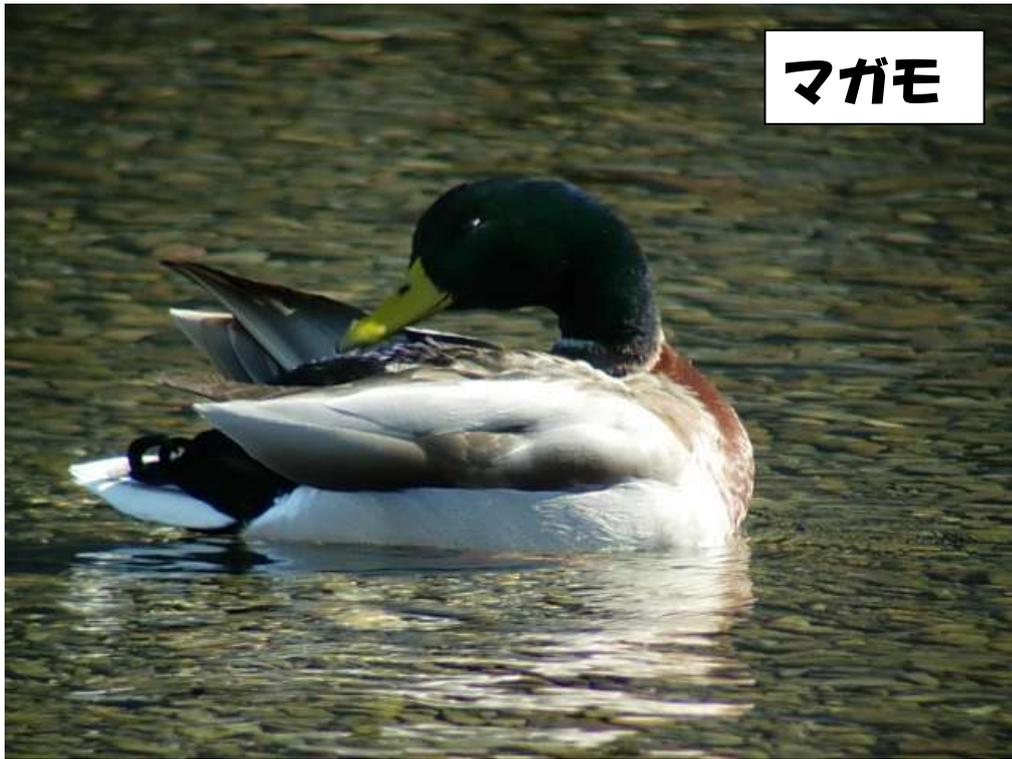
花ちゃん 「そうね、チャレンジしましょう。」

オー君 「モンタ博士がじいっとよく観察してごらん、と言ったよね。」

花ちゃん 「そうね。じいっとよく観察してみよう。」

モンタ博士 「二人とも、水鳥がなぜ水の中にいるか、という事に疑問を持ったことは、
とてもすばらしいことなんだ。単純な事でも、当たり前前の事でも、

マガモ



どうしてかなと不思議に思う心が大切なんだ。そして、そこから、科学は進歩するのさ。」

オー君 「あれ！今、マガモがくちばしを体の後の方に持っていったぞ。」

花ちゃん 「首の運動でもしているのかな。あ！また同じ事をやったよ。」

モンタ博士 「二人とも、よくそこまで観察したね。あれはね、羽づくろいと言って、羽を整えているのさ。そして、水鳥は特にその時に、尾っぽの所からでている油を体にぬっているんだよ。もう、答はわかっただろう。」

オー君 「なぜはすべてとけた。そーだったのか。油を羽にぬれば…。」

花ちゃん 「わかった。油を羽にぬれば、水にうきやすくなるんだわ。水鳥はそうやって、池や川で生活しやすいようにしているんだわ。」

モンタ博士 「むずかしい言葉でね、尾脂腺というんだけど、そこから、油を羽のあちこちにぬっているんだよ。水鳥は尾脂腺というのが特によく発達しているのさ。ふつうの鳥は水の中でおぼれちゃうんだよ。カルガモの羽を拾ったんだけど、水をつけてごらん。おもしろいよ。」

花ちゃん 「あ！！この羽、水をはじいているわ。おもしろい。」

モンタ博士 「当たり前前の事でも、よーく考えたり観察するとおもしろいね。」

オー君 「よーし！不思議いっぱい探しにいこうぞ。」